

独断

注目商品

REVIEW

発酵副産物のアミノ酸・核酸が植物の活性化を助ける

肥料

⑤ **アミハート®** / **早根早起®**
アジフォル® **アミノガード®**



■お問い合わせ
 味の素ヘルシーサプライ株式会社 アミノ酸営業本部
 〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11
 TEL : 03-3567-7580
<http://www.ahs.ajinomoto.com>

うま味調味料の副産物

食卓に欠かせない調味料の一つに「味の素」がある。年間100万tのアミノ酸を生産する味の素グループが、近年、農業資材製品の国内販売に乗り出した。

味の素の主な原料はサトウキビやキャッサバなど。発酵工程を経て、アミノ酸や核酸を含む食品や医薬品、香粧品、飼料用アミノ酸などの製品が製造される。その副産物がアミノ酸や核酸、その他のミネラルを

含む発酵液である。これまでも資源リサイクルの発想から肥料として畑に戻したり、家畜の飼料に利用したり資源循環型のアミノ酸発酵生産のビジネスモデルを確立してきた。

しかし、もっと有効に活用できるのではないか。同社は、植物の栄養素でもあるアミノ酸や核酸が実際に植物にどのように効くのかという研究開発を始めた。

アミノ酸はタンパク質を構成する成分として欠かせない要素で、核酸は肉やカツオなどの魚のうま味成

分、イノシン酸のもとだ。これらの栄養素をたっぷり含んだ発酵液は廃棄しようにも8カ国17カ所の同社工場から年間200万tも生産される。ここに原料を安定供給できるといふ強みがある。

根には核酸、葉にはアミノ酸

同社はそれぞれの成分の効能を次のように説明している。

●核酸は直接、根に散布することによって、根の生長、根毛の分化を促進する

●アミノ酸は葉面散布することによって、エネルギーロスを減らして生育を改善し、免疫反応を誘導して健全な生長を促進する

日本国内で商品化されているのは、核酸肥料の「アミハート」と「早根早起」。前者は定植後2週目以降から栽培期間を通じての使用を、後者は主に育苗期と定植時での使用を推奨する。核酸肥料の効果は速やかで、施用後数日間に渡って効果を確認できる。植物ホルモンが活性化され、根域の成長を促しているという。

また、アミノ酸肥料には「アジフォル アミノガード」がある。植物体をつくるために欠かせないアミノ酸は、肥料から吸収された硝酸から植物体内で合成される。葉面散布な

どによってアミノ酸を直接吸収できれば、合成するためのエネルギーは不要になる。特に生育初期に日照不足や低温などで光合成が不足している場合に効果が期待できそうだ。また、アミノ酸には植物の免疫反応を誘導する効果もあり、病気にかかりにくい植物体にする作用もある。

(加藤祐子)

	商品名	効果	施用方法
核酸	アミハート® (容量：20kg・2.4kg)	発根促進 成長促進	100～200倍に希釈。定植後2週目以降から栽培期間を通じて使用。
	早根早起® (容量：1.2kg・290g)	丈夫な 苗づくり	500倍希釈。通年使用可能だが、主に育苗期と定植時に使用。
アミノ酸	アジフォル® アミノガード® (容量：1.3kg)	植物元気・ アミノ酸・ ミネラル供給	500～1,000倍に希釈。栽培期間を通して使用。
	グルハート®	ストレス軽減、成長促進 (2013年度発売予定)	